

会 議 録

会議の名称		第4回水道事業審議会
開催日時		平成25年11月29日(金)
開催場所		川島町水道庁舎2階会議室
議 題		(1) 水道料金の改定について (2) その他
公開・非公開の別		<del>公開</del> ・ <del>非公開</del> ・一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		「参考資料 配水管幹線図(優先順位)」について、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱第3条の(2)に基づき公開対象から除く
出席者	委 員	第1号委員 吉田豊子、飯野徹也 第2号委員 秀熊勝洋、大澤勝昭、長尾清広、佐藤菊江、 小西博子 第3号委員 谷口隆一郎、宮田義範
	事務局職員	副町長 飯島和夫、上下水道課 宮下滋男、柴崎和義、遠山壽二
配布資料		参考資料 配水管幹線図(優先順位) 水道料金の見直しについて(案)
<p>審議会等の内容・概要</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 谷口会長</p> <p>3 審議</p> <p>会長より会議録確認者に第1号委員飯野徹也氏、第2号委員大澤勝昭氏を指名。</p> <p>(1) 水道料金の改定について</p> <p>事務局より、配水管耐震化工事計画(案)について説明。浄水場と各避難指定場所の間の配水管耐震化を優先して行う。対象約3.6km。工事期間を10年とし、20億円の費用を想定している。</p> <p>前回審議会で配付した資料3～5に記載の料金改定案(3種)について、どれが妥当か審議。</p> <p>委員質問及び意見交換。</p> <p>・料金改定に耐震化費用を見込まなかった場合、耐震化は行わないのか?</p>		

〈事務局〉耐震化計画をより長期で再検討する等、水道事業の体力にあった内容を考える。

・川島町は石綿管の更新は早期に完了したが、耐震化は遅れており、やらなければいけない。現状の水道料金は安い状態となっている。浄水場と配水管の耐震化も見込んだ案では、三案のうち最も高い値上げとなり非難の対象になると思われるが、すすめてもらいたい。

・浄水場だけ耐震化する案もあるが、水がつながらなければ意味がない。震災を経て、どの水道事業も地震への対応を重要視している。

・経年劣化による鋳鉄管の腐食も心配。耐震化を先にしたほうがよいのか？

〈事務局〉耐震化工事では、20年以上経過した管（約19.5km）を優先する。もっと古い30～40年経過した管についても、交換対象として入れ替えなければならない。

・料金改定に消費税値上げが加わり、家庭の負担になるので不安。しかし水が濁ったときに大騒ぎしたので、地震で水が出なくなったらもっと困る。

3種類の案のうちどの案が妥当か、会長で全委員に確認。

資料5の案（C案 毎年度発生する欠損金への対応と、浄水場・配水管の耐震化費用＝耐震化工事費は企業債借入し、それに伴う利息償還、減価償却費増加を見込み）で総意を得る。


#### (2) その他

配付資料「水道料金の見直しについて(案)」の内容について、修正の意見を聞く。

寄せられた意見をもとに案を修正し、後日委員に送付し、再確認をいただくことに。

再修正の意見なければ答申文書とし、会長から町長へ提出する。

#### 4 閉会

署 名	飯野徹也 
	大澤勝昭 